

平成 25 年活 動 状 況 報 告

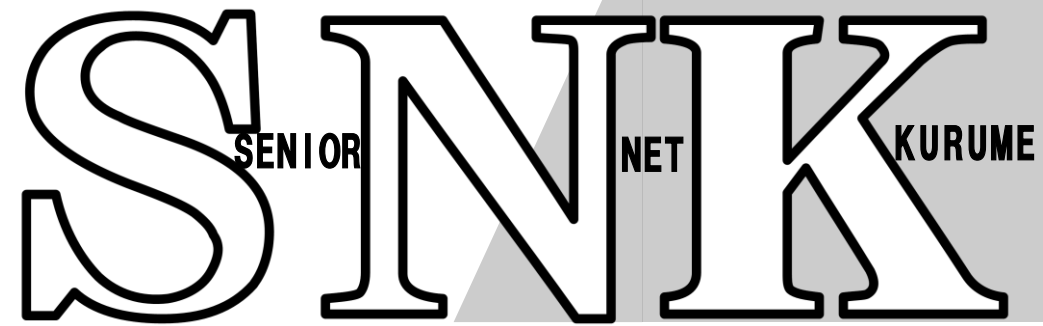
(総会資料より)

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

年	月 日	活 動 内 容	備 考
H25年	4月6日	花見会	津福サロン
	5月12日	第7回久留米ん町探検「田主丸地区」(22名参加)	田主丸町
	5月15日	PC出前講座(城島) (5/15～6/26 13回)	城島働く女性の家
	5月20日	平成25年度にこにこステップ運動開始 (5/20～7/29)	市内5会場
	5月26日	SNK第13期総会 & 新人歓迎会	ホテルニュープラザ
	7月14日	「ユニバ広場(ミステ)」に参加	御井町
	7月28日	「うまかもんば食う会」そうめん流し	津福サロン
	7月31日	賛助企業の商品販売幹旋	ハム、オリーブオイル
	8月4日	「水の祭典・総踊り」に参加 天候不良で有志のみ参加	六つ門
	8月15日	「筑後川流し灯籠」に協力参加(SNKより約30名参加)	筑後川河川敷
	10月5日	第8回久留米ん町探検「北野」(参加者30名)	北野町
	10月上旬	農縁倶楽部高塚農園開設	荒木町
	10月26日	農園倶楽部収穫祭(参加者約70名)	府中公民館
	11月24日	秋の新人歓迎会&会員交流会 (参加60名)	ホテルニュープラザ
	12月14日	特別講座「未来予想図としてのエンディングノート(第1回)」	本部教室
	12月19日	賛助企業の商品販売幹旋	荘島プラザ
	12月29日	もちつき大会	津福サロン
	10月～12月	津福サロン水道設備設置のための募金活動	津福サロン
H26年	1月25日	特別講座「未来予想図としてのエンディングノート(第2回)」	本部教室
	2月16日	シニアネット基山15周年記念講演会に参加	基山町
	3月1日	特別講座「介護難民とならないために」	本部教室



半年に1度、会員が顔を合わせて会話をすることの大切さが良く分かる会でした、交流会のホームページも併せてご覧ください(中丸)



編集・発行
NPO シニアネット久留米
理事長 小島紀夫
久留米市荘島町 13-1
TEL 0942-46-2277

理事長挨拶

小島紀夫

会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨13期も大過なく健全な運営が出来た事は理事・講師・事務局員や会員の皆様のご協力の賜物と、心から厚く御礼申し上げます。

SNKは1997年(平成9年)に25名で久留米の地で発足(2000年にNPO法人を取得)して以来、先輩方から現在へと「シニアの生き甲斐づくり仲間づくり」を基本理念とした運営が会員の多様性を、差別なく受け入れる包容力のある魅力ある組織へと育ててきております。

最近各地のシニアの会、マスコミや高齢社会を研究している大学院生等の問い合わせが寄せられる事が多くなりました。この1年も例年どおり、各種パソコン教室、会員交流会、サークルやボランティア活動等様々な活動が活発に行われました。特筆すべき事項として

- 1、SNK設立当初から交流やボランティア活動の主要な拠点である「津福サロン」の水道設備設置の為に寄付金をお願いしましたところ、設置費用(37万円)のほぼ全額の35万円を会員皆様のご厚意によりご協力頂きました。厚く御礼申し上げます。
- 2、今年3月15日付西日本新聞に、久留米市内の高齢者施設を慰問する「くるめんサザエちゃん一家」が掲載されました。その後出演依頼も続々と舞い込んでいます。
- 3、シニアが抱えている諸問題の中で特に介護、後見人、遺言、葬儀や認知症予防等の講座「未来予想図としてのエンディングノート」が開講され好評を得ました。

安心してより良い人生を過ごす為に、元気な内に予備知識を吸収して準備をしておきましょう。今後も講座継続の予定です。

- SNKの課題としては前期同様に
- ・パソコン教室の受講者の減少対策
- ・会員増対策
- ・健全な財政運営の為の方策

等の難問題が山積しておりますが、今期も会員の皆様のご協力を得て努力する所存です。

今後もシニアが楽しみながら、これまでに培った経験や知識を活かし地域に貢献していく活動を継続していきましょう。

会員皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。皆様のご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げます。(総会資料より)

末尾ながら、広報SNK紙が50号の発刊を迎えました。今後も会員への情報紙として、また外部へのPR紙として、社会を見つめ会の活動を社会に問う活動を期待します。以上



読者は新しいニュース記事に反応を示した・広報紙

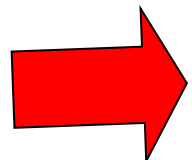
S N K 広報紙

第Ⅱ期

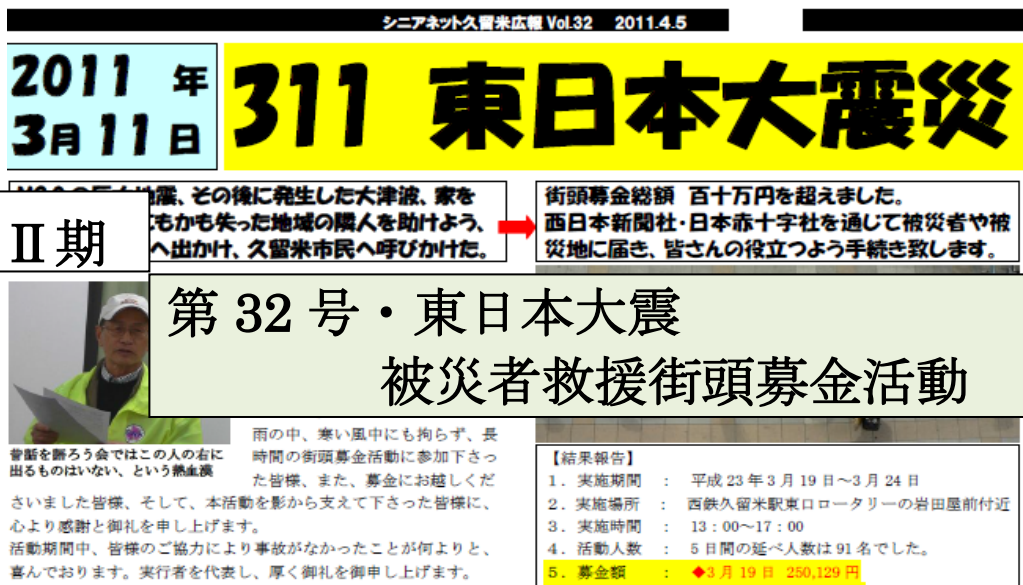
祝 第50号発行



第1期



第Ⅱ期



第32号・東日本大震

被災者救援街頭募金活動

第1期広報紙はシニアネット久留米ニュースとして発行された

祝・広報紙50号を迎えるにあたって

広報紙の第一期は「シニアネット久留米ニュース」と名前を付して、1998年9月発刊だった。13号ほど発行して、その役目を終えたと判断し中止とした。2004年4月より第二期の「広報・シニアネット久留米」が松尾広報担当理事や井上さんの編集作業のもと再開されている。

第一期当時のスタッフは、出版業界に身を置く人たちが主導による斬新な構成だった。当時、私は担当理事・広報出版委員長だった。毎日、皆さんは楽しんで広報紙を作っていた。

祝・広報紙50号を迎えるにあたって

第二期、広報紙の作成が須佐卓郎さんにより呼びかけられた。当時を思い出して原稿集めに苦労は感じなかった。第1号は「ふるさと探検」の記事を掲載した。当時から会員活動は活発で、パソコン教室など勉強会が豊富に開催されていたので、原稿にはこと欠かなかった。

私は編集担当理事として、2006年4月より編集に携わり、原稿集め、紙面の割付などしていましたが、実際の編集作業は伊藤咲子さんを初めとするスタッフの方々が苦労をされている。

2008年、私の体調不良により現在の編集担当理事：一ノ瀬尚文氏に編集をお願いした。こういう経緯を経て、この度50号を迎えることとなり喜ばしいことです。多角的に特集を組み、十分に広報の役目を尽くしているのを見て安心です。特に目を引くのが元気もんシリーズで、歴代理事長の思い出の記事には皆さんも大いに心をうたれたと思う。更なる内容の充実をもった広報誌になることに期待しています。

前、広報紙担当理事 松尾 優

ほとめきの街 久留米



株式会社フォルテシモ

東京都新宿区高田馬場 1-21-13 3F

福岡市中央区高砂1丁目 8-8-801

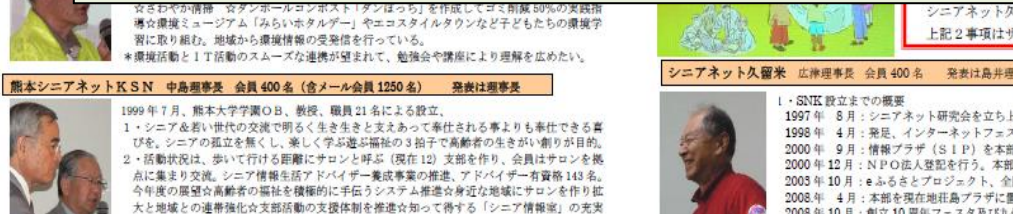
TEL 092-534-2022

Fax 092-534-2023

公益財団法人
久留米観光コンベンション国際交流協会
830-0022 久留米市城南町 16-1
TEL 0942-31-1717 Fax 0942-31-3210
Email Ktcd@kurume.ktarm.or.jp

第21号・SNK10周年

シニアネットサミット開催する



「奉仕されるより奉仕しよう」

- ・コンパクトな組織によるローコスト運営のSNK
- ・感情をおさえて明るい活発な議論のSNK会員がインターネットを絆とし、楽しく研鑽しあうSNK
- ・会員が相互に助け合い、積極的に運営に参加するSNK
- ・すべての情報をオープンにして開かれたSNK

第49号	平成26年4月11日	巻頭 さくらさくらくら 特集、国際交流
第48号	平成26年3月1日	巻頭 元気もん、は考える シリーズ元気もん、今津一躬と云う人
第47号	平成26年1月1日	巻頭 謹賀新年 特集 頑張る事務局
第46号	平成25年12月1日	巻頭 元気もんは、ミュージシャン シリーズ元気もん 須佐卓郎という人
第45号	平成25年11月1日	巻頭 この指とまれ、元気もん シリーズ元気もん 廣津芳信という人
第44号	平成25年10月1日	巻頭 元気もん、で生きること シリーズ元気もん 島井新一郎という人

第44, 45, 46, 48号

・シリーズ元気もん

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1・シリーズ元気もん（前理事長） | 第44.45.46.48号 |
| 2・東日本311被災者救援街頭募金活動 | 第32号 |
| 3・にこにこステップ運動県知事賞受賞 | 第37号 |
| 4・SNK10周年・シニアネットサミット開催 | 第21号 |
| 5・デジタルアーカイブ国会図書館へ登録される | 第24号 |

以上5件の記事について、オフ会出席の会員にアンケート調査を行った。5/25：会員投票による好感度の順位で並べています。
*意見：企画の大きさと逆、ニュースの新しさに並んだ。

NPO法人 シニアネット久留米・広報 Vol.37 2012.4.1

http://www.snk.or.jp/

第37号・にこにこステップ運動
県知事賞受賞

県知事賞受賞

にこにこステップ運動 理事長 今津一躬



福岡NPO・ボランティアセンターより福岡県知事賞の受賞決定の連絡を受けました。受賞の対象活動は久留米市介護予防普及・啓発事業「にこにこステップ運動」です。この運動が「ふくおか共助社会づくり表彰」の「協働部門賞」として県知事賞を受けることになりました。受賞は協働した3団体、SNKと福岡安全センター及び久留米市長寿支援課です。

表彰式は3/29（木）15：00～18：30 ホテルレガロ福岡（博多区千代）で行われました。ここにこステップ運動事業は平成19年度から5年間、久留米市内5箇所で実施してきました。開催回数は551回、総参加者数は延べ7300名になりました。この運動効果はNHKのためにガッテンなどで放映されましたが、運動前後の体力測定や参加者の声として効果が評価されています。

この事業はSNKが募集受付、参加者募集、会場設営、運動サポートや潤滑油としての役割を担い、福岡安全センターが運動指導、器材準備、体力測定などを担当し、久留米市との3者協働が予算額、効果など含め協働事業としての総合効果を評価されたと考えます。この事業に携わった皆さんに感謝いたしますとともに、この事業が今後とも継続することを願っています。

授賞式には3役で出席しました。式の冒頭挨拶で小川洋知事、石原進協働実践会議委